

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
681	鳥獣害防止事業	会計	01	一般会計	
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名	伊賀支所産業建設課		細目	106	鳥獣害防止事業
作成者氏名	高島 幸生	連絡先	細々目	01	鳥獣害防止事業
		45-9119			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	・区単位または共同による農作物等の鳥獣害の被害防止策を行った農業者	・鳥獣被害を防止することにより、農業者の生産意欲の低下を防止する。					
本年度事業内容	・区単位または共同による農作物等の鳥獣害の被害防止策を行った農業者を対象として、資材費の一部を補助。(電気柵、トタン板等)						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	134	450	1,000
	補助金	134	450	1,000
	その他			
	合計(A+B)	1,574	1,890	2,440
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,574	1,890	2,440	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
電気柵設置	件	2	6	10			
受益面積	ha	3	10	20			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
獣害対策補助申請数及び受益面積	農作物の獣害の増加に伴い、対策を講じる農家が増加し、その効果により生産意欲の低下を防止できるため、獣害対策実施による受益面積の設定を指標とする。	ha	3 目標 ()	10	20
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>・増加している農作物の獣害から被害防止のため、電気柵、トタン等を設置する農家が増加している。以前は、個人での対策及びトタンでの対策が多かったが、近年は広範囲を電気柵で対策する方法が多くなってきている。また、農業共済事務組合においても獣害対策への補助制度があるので、補助制度の見直しが必要とおもわれる。</p>

評価	必要性	4	・農作物の獣害による生産意欲の低下を防止し、健全な農業経営及び農地環境を守っていくため、今後、制度の一層の充実が必要と考えます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		